

- 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ -

県内の新型コロナウイルス検査の陽性者数は、依然として多い状況が続いています。引き続きこまめな手洗いや手指消毒、人が集まる場所での定期的な換気といった基本的な感染予防対策を徹底しましょう。発熱や咳に限らず鼻水や喉の痛み、倦怠感など、軽い風邪のような症状であっても症状のある方は必ず人との接触を避け、かかりつけ医等の身近な医療機関や「受診相談センター (089-909-3483)」へ事前に電話相談し、案内に従って受診してください。詳しくは県ホームページをご確認ください。

『愛媛県ホームページ 新型コロナウイルス感染症に関する情報』 ➡



発生動向の概況

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、第 19 週 5.6 人から第 20 週 6.3 人と増加しました。特に西条、松山市保健所では他の保健所に比べ多い状況です。感染予防のため、調理・食事の前、トイレの後は液体せっけんとう流水で十分に手を洗いましょう。また、第 19 週には**腸管出血性大腸菌感染症**が発生しています。この感染症の原因菌はベロ毒素を産生する病原大腸菌で、この菌に汚染された食物等を経口摂取することで感染します。生の食肉に付着していることが多いので、食肉を使った料理をする際には肉の中心部まで十分に加熱 (75℃で 1 分以上) し、加熱不十分な肉料理は食べないようにしましょう。

梅毒の届出が 5 例 (第 18 週分含む) ありました。県内の 2022 年累計届出数は 45 例と、過去 5 年の同時期 (平均 23 例) と比べかなり多くなっています。この疾患の病原体は梅毒トレポネーマで、大部分は性行為により感染します。検査や治療が遅れたり、治療せずに放置したりすると脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。早期発見のため、不安のある方は県内各保健所で実施している電話相談や無料匿名検査をご利用ください。また、梅毒に感染したと分かった場合は、周囲で感染の可能性のある方 (パートナー等) にも検査を勧め、必要に応じて一緒に治療を行うことも重要です。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症

※医療機関からの届出数を集計したもので、集計日以降の報告は次回以降に反映されます。

- 二類感染症 : 結核 6 例
- 三類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 1 例 (O157 : 30 歳代男性)
- 四類感染症 : レジオネラ症 3 例 (50 歳代男性、70 歳代男性、80 歳代男性)
- 五類感染症 : 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例 (80 歳代男性)
- 梅毒 4 例 (30 歳代女性、50 歳代男性 2 例、60 歳代男性 2022 年県内累計 45 例)

新型インフルエンザ等感染症 : 新型コロナウイルス感染症 2,837 例

*その他、劇症型溶血性レンサ球菌感染症の届出が第 18 週に 1 例、梅毒の届出が第 18 週に 1 例、新型コロナウイルス感染症の届出が第 1 週に 1 例、第 2 週に 1 例、第 3 週に 8 例、第 4 週に 34 例、第 5 週に 66 例、第 6 週に 55 例、第 7 週に 30 例、第 8 週に 10 例、第 10 週に 8 例、第 11 週に 25 例、第 13 週に 2 例、第 14 週に 2 例、第 16 週に 6 例、第 17 週に 3 例、第 18 週に 10 例ありました。

定点把握感染症 (数字は最新週の定点当たり報告数)

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
RSウイルス感染症	➡ 0.3	横ばい。今治、松山市、中予保健所で散発。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡ 0.7	横ばい。西条保健所で急増。
感染性胃腸炎	➡ 6.3	増加。西条、松山市保健所は他保健所に比べ多い。

解析評価委員のコメントから

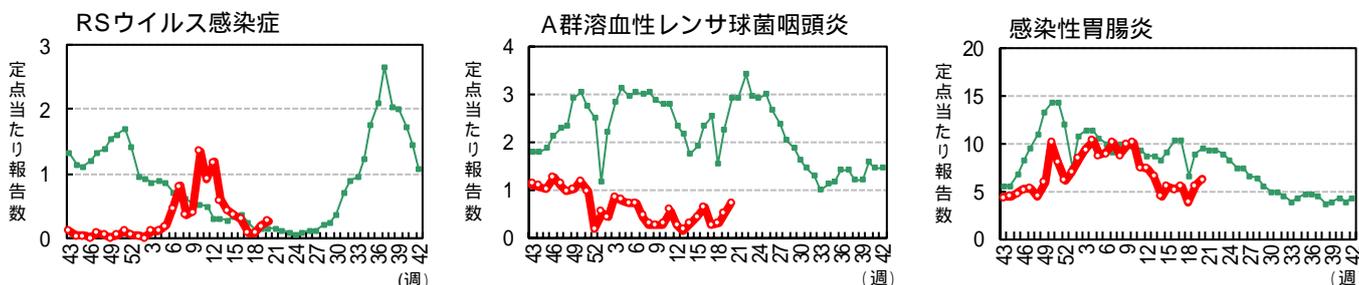
RSウイルス感染症 : [東予] 減少しました。 [中予] わずかに報告されています。 [南予] 報告はありません。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 : [東予] 西条市で増加しています。 [中予] あまり多くありません。
[南予] 前々週では発生が数例ありましたが前週では発生はないようです。

感染性胃腸炎 : [東予] 引き続き、みられています。 [中予] 横ばいです。
[南予] 発生は続いており増加傾向です。

過去 30 週の動向

(—○— : 過去 30 週の動向、—■— : 過去 10 年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.lg.jp までお願い致します。

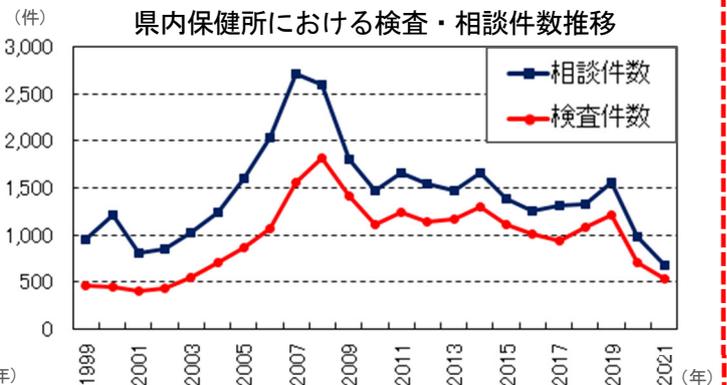
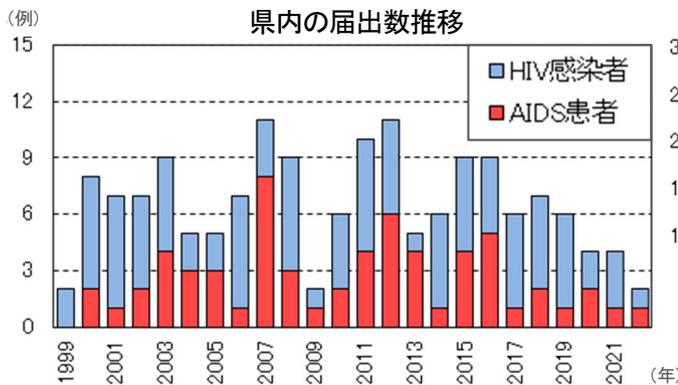
6月1日（水）～6月7日（火）は、「愛媛県 HIV 検査普及啓発週間」です

令和4年5月25日現在

県内では1999年の感染症法施行以降、後天性免疫不全症候群の届出が157例（2022年2例）ありました。診断時の症状別にみると、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染者95例（60.5%）、エイズ患者62例（39.5%）となっています。特に50歳代では約8割が診断時に既にエイズを発症しています。エイズとは、HIVによって免疫力が低下することで普通は感染しない病原体に感染し、様々な合併症を発症した状態をいいます。HIVに感染しても、早期に発見し治療を行うことでエイズの発症を防ぐことができます。

県内各保健所では無料匿名でのHIV抗体検査とエイズ電話相談を実施しています。2020年以降、新型コロナウイルス感染症流行による検査機会減少等の影響もあり、検査件数、相談件数ともに急減しています。検査の機会を逃すことで、治療が遅れたり、ほかの人に感染を広げたりする可能性があります。期間中、一部の保健所では夜間・休日*もHIV抗体検査を実施しています。早期発見のため、感染の不安がある方、エイズについて知りたいことがある方は、ぜひHIV抗体検査、エイズ電話相談をご利用ください。

*検査の実施状況等の詳細は各保健所へお問合せください。
詳しくは県ホームページをご確認ください。『愛媛県 HIV 検査普及啓発週間のお知らせ』⇒



病原体検出情報

令和4年5月24日現在

■ 過去5週 検出病原体

(2022年4月18日以降採取検体)

○ 過去5週で新たに検出された定点把握疾患に係る病原体はありません。

■ 月別病原体検出結果

検体採取月		2021	2022					合計
検出病原体		12	1	2	3	4	5	
ウイルス	コクサッキーA6	2						2
	ノロ	2		1	2	1		6
	サポ				1			1
	アデノ37		1					1
ウイルス計		4	1	1	3	1		10
細菌	カンピロバクター					1		1
	A群溶レン菌	1						1
細菌計		1				1		2

■ 臨床診断別検出結果 (2022年3月以降採取検体)

検出病原体	感染性胃腸炎	合計
ノロ	3	3
サポ	1	1
ウイルス計	4	4
カンピロバクター	1	1
細菌計	1	1

注) 表中の検出数は5月24日集計分であり、その後の検出結果は次号以降に反映されます。
咽頭ぬぐい液にはうがい液・鼻汁・鼻腔ぬぐい液等を含んでいます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2022年 第20週 (2022.5.16~5.22)

患者報告数	インフルエンザ定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点						四国中央 西条 今治 松山市 中予 八幡浜 宇和島 愛媛県 1週前 2週前 3週前 年齢別 0-5ヶ月 6-11ヶ月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10-14 15-19 20-29 ⁵⁾ 30-39 40-49 50-59 60-69 70-79 ⁶⁾ 80-				
	1) インフルエンザ		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎		3) 細菌性髄膜炎		4) マイコプラズマ肺炎			1) クラミジア肺炎		1) インフルエンザ(入院)	
	迅速検査A型	迅速検査B型																								
保健所別	四国中央	1					14				2				-	-										四国中央
	西条				1	17	43				6															西条
	今治				2	2	22				4	1														今治
	松山市				6	3	6	96	1		5		1			2	-	-	-	-	-	-	-	-		松山市
	中予				2		3	13	1		4															中予
	八幡浜						23				1															八幡浜
	宇和島					1	21				6															宇和島
週推移	愛媛県	1			10	7	26	232	2		28	1	1		7											愛媛県
	1週前				7	3	18	207	2	1	18		1		4	1										1週前
	2週前				3	3	11	141	1	2	14				4		1									2週前
	3週前	1			3	5	9	203	4		25				10											3週前
年齢別	0-5ヶ月				1						1															0
	6-11ヶ月				3	3	1	15			13															1-4
	1				5	3	4	34			8		1													5-9
	2						1	26			5				1											10-14
	3				1	1	1	24																		15-19
	4						5	26	1																	20-24
	5						1	16			1	1														25-29
	6						4	14																		30-34
	7						4	15																		35-39
	8						9	9	1																	40-44
	9						8	8																		45-49
	10-14						3	25							2											50-54
	15-19						1	3							1											55-59
	20-29 ⁵⁾						1	17																		60-64
	30-39														1											65-69
	40-49														1											70-
	50-59														1											
	60-69														1											
	70-79 ⁶⁾	1																								
	80-																									

定点当たり報告数

保健所別	四国中央		-	-			4.7				.7			-	-											四国中央
	西条	.1	-	-			7.2				1.0				1.0											西条
	今治		-	-	.4	.4	4.4				.8	.2			4.0											今治
	松山市		-	-	.5	.3	8.7	.1			.5		.1		.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-		松山市
	中予		-	-	.5	.8	3.3	.3			1.0															中予
	八幡浜		-	-			5.8				.3															八幡浜
	宇和島		-	-		.3	5.3				1.5															宇和島
	愛媛県	.0	-	-	.3	.2	.7	6.3	.1		.8	.0	.0		.9											愛媛県

- 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
 - 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。
 - 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。
 - オウム病を除く。
 - 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。
 - 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。
- *インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

(参考) 保健所別定点数

定点	数	愛媛県	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7	
小児科科定点	37	3	6	5	11	4	4	4	
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1	
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1	

注) 表中の報告数は5月25日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2022年 第19週 (2022.5.9 ~ 5.15)

患者報告数	インフルエンザ定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点						四国中央 西条 今治 松山市 中予 八幡浜 宇和島 愛媛県 1週前 2週前 3週前 年齢別 0-5ヶ月 6-11ヶ月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10-14 15-19 20-29 ⁵⁾ 30-39 40-49 50-59 60-69 70-79 ⁶⁾ 80-		
	1) インフルエンザ		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎		3) 細菌性髄膜炎		4) マイコプラズマ肺炎			1) インフルエンザ(入院)	
	迅速検査A型	迅速検査B型																						
四国中央			1	1		14					1			-	-									四国中央
西条					1	44				1														西条
今治			3			22					3				2									今治
松山市			3	2	5	96	1				8		1		2	-	-	-	-	-	-	-	-	松山市
中予					6	13		1		2														中予
八幡浜					6	13				1						1								八幡浜
宇和島						5	1			3														宇和島
愛媛県			7	3	18	207	2	1	1	18			1		4	1								愛媛県
1週前			3	3	11	141	1	2	1	14			2		4		1							1週前
2週前	1		3	5	9	203	4			25			1		10									2週前
3週前	1		11	3	23	192	2		5	20			2		7									3週前
年齢別			1			1										1								年齢別(基幹定点疾患)
0-5ヶ月			2			13					8					1								0
6-11ヶ月			3	1		34			1	10														1-4
1			1	1	2	24		1																5-9
2			1	1	1	25																		10-14
3				1	1	21																		15-19
4					2	16																		20-24
5					2	14																		25-29
6					2	14							1											30-34
7					3	7	1																	35-39
8					1	7	1							1										40-44
9						8																		45-49
10-14					4	23																		50-54
15-19						6																		55-59
20-29 ⁵⁾					1	8																		60-64
30-39															1									65-69
40-49																								70-
50-59																								
60-69															2									
70-79 ⁶⁾																								
80-																								

定点当たり報告数

四国中央		-	-	.3	.3		4.7			.3			-	-										四国中央
西条		-	-			.2	7.3			.2														西条
今治		-	-	.6			4.4			.6				2.0										今治
松山市		-	-	.3	.2	.5	8.7	.1		.7		.1		.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	松山市
中予		-	-			1.5	3.3		.3	.5														中予
八幡浜		-	-			1.5	3.3			.3					1.0									八幡浜
宇和島		-	-				1.3	.3		.8														宇和島
愛媛県		-	-	.2	.1	.5	5.6	.1	.0	.5		.0		.5	.2									愛媛県

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。
 3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 4) オウム病を除く。
 5) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 6) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。
 *インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

(参考) 保健所別定点数

定点	数	愛媛県	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7	
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4	
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1	
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1	

注) 表中の報告数は5月18日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 2022年 第18、19週 (2022.5.2 ~ 5.15)

(定点当たり報告数)

	1) インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点				
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎
愛媛県	.1	.1	.3	3.9	.0	.1	.0	.4		.1		.5		.2				
近畿 県	香川県		.0	.1	3.0	.1		.0	.3		.0		.4					
	徳島県	.0		.2	3.5	.0	.0	.4	.0									
	高知県		.1	.1	1.2	.1		.3								.1		
18 週	全 国	.0	.1	.2	2.7	.1	.1	.0	.3	.0	.0		.2	.0	.0	.0	.0	
	北海道	.0	.1	.3	1.6	.1		.0	.1		.0		.1			.0		
	東北	.0	.1	.2	2.2	.1	.0	.0	.4	.0	.0		.1	.0		.0		
	関東	.0	.0	.1	2.6	.1	.1	.0	.3	.0	.0		.2	.0	.0			
	甲信越北陸	.0	.1	.2	2.8	.0	.3	.0	.2	.0	.0		.1	.0		.0		
	東海	.0	.3	.1	2.2	.1	.0	.0	.2	.0	.0		.1					
	近畿	.0	.1	.2	2.6	.1	.0	.0	.3	.0	.0		.2		.0	.0		
	中国四国	.1	.1	.2	3.2	.1	.1	.0	.4	.0	.0		.2	.0		.0		
	九州沖縄	.0	.1	.3	3.4	.1	.4	.0	.5	.0	.0		.3		.0			

(5.11集計)

愛媛県	.2	.1	.5	5.6	.1	.0	.0	.5		.0		.5	.2				
近畿 県	香川県		.2	.2	4.5	.0	.0	.5	.0	.0		.4					
	徳島県	.1	.1		4.0		.0	.3		.0							
	高知県		.3	.1	2.1	.1		.5									
19 週	全 国	.0	.1	.3	4.1	.1	.1	.0	.4	.0	.0	.0	.2	.0	.0	.0	.0
	北海道		.3	.2	4.4	.1	.0	.0	.2		.0		.0			.1	
	東北	.0	.1	.2	3.5	.1	.0	.0	.4		.0		.2	.0		.0	
	関東	.0	.0	.1	4.4	.1	.0	.0	.4	.0	.0		.2	.0	.0		.0
	甲信越北陸	.0	.0	.2	4.3	.0	.3	.0	.3	.0	.0		.1			.1	
	東海	.2	.1	.2	3.7	.1	.0	.0	.2	.0	.0	.0	.1	.1	.0		
	近畿	.1	.2	.3	3.7	.1	.1	.0	.3	.0	.0	.0	.2			.0	
	中国四国	.1	.2	.3	4.5	.1	.0	.0	.4	.0	.0		.1	.0	.0	.0	
	九州沖縄	.1	.3	.4	5.1	.1	.5	.0	.5	.1	.0	.0	.2		.0		

(5.18集計)

1) 鳥インフルエンザを除く。

2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。

3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 4) オウム病を除く。

